

# 視聴票（１）あなたが人とつながることで何が生まれるか？①②

## 第1回のまとめ（約400字）

「コミュニケーション＝人とつながること」をテーマに、つながりが自分の将来にどう役立つかを考えた。番組では、服のブランドを起業したいノムくんが主人公だった。最初は、世界中のファッションブランドにインスタのDMを送り、翻訳アプリを使って英語でメッセージを出したが、ほとんど返事は来なかった。そこでSNSだけに頼るのをやめ、実際にお店に行き店員さんと話したり、起業した人やデザイナーに会いに行ったりして、直接相談するように方法を変えた。その結果、仕事の内容や準備すべきことが具体的に見えてきて、人脈も広がった。また、電話をかけるときのマナーや、手紙・対面で話すことの良さも紹介され、社会に出たらスマホだけでなく、さまざまなコミュニケーション手段を使いこなす力が大事だと学んだ。

## 課題設定シート 回答例

### 例1

① わたしの課題：

部活のOB・OGと、先生に紹介してもらって対面でつながったら、部活の練習方法や進路の相談に乗ってもらえるかもしれない。

②何を：OB・OGが高校のとき、どんな練習や勉強をしていたか。

どのような方法で：顧問の先生に連絡先を聞き、学校に来てもらえる日を相談する。

③考察・新たな課題：

直接話を聞けると、自分でもできそうな工夫が見つかりそうだと感じた。一方で、初対面で何を聞けばよいか不安なので、「質問を事前にメモしておくと話しやすいのか」を次に調べてみたい。

### 例2

① わたしの課題：志望している大学の先輩と、オンライン座談会やSNSでつながったら、大学生活や受験勉強のコツを知ることができるかもしれない。

②何を：高校生向けに大学生が情報発信している場がどこにあるか。

どのような方法で：大学公式サイトやオープンキャンパスの案内を調べ、オンラインイベントや相談会がないか探す。

③考察・新たな課題：大学のパンフだけでは分からないリアルな話を聞けそうと思った。次は、「先輩に失礼にならない質問の仕方」や「感謝の伝え方」について調べたい。

### 例3

① わたしの課題：同じ趣味（ゲーム・音楽など）の人と、SNSコミュニティやオフ会でつながったら、一緒に楽しめる友達ができるかもしれない。

②何を：安全に参加できる趣味のコミュニティの見分け方。

どのような方法で：公式サイトがあるイベントや、学校の先生・友人から教えてもらった場だけを利用する。

③考察・新たな課題：ネットでは、マナーを守らない人がいることも分かった。安心して交流するには、「個人情報などをどこまで出さない方がいいのか」など、ネットリテラシーについてさらに調べたい。

### 例4

- ① わたしの課題：地域のボランティア団体と、電話やメールで連絡を取ってつながったら、社会に役立つ活動に参加できるかもしれない。
- ②何を：高校生でも参加できるボランティアの内容と条件。  
どのような方法で：市役所や学校の掲示板、ホームページで募集情報を調べる。
- ③考察・新たな課題：人数や保険など、意外と決まりが多いことに気づいた。次は、「初めて参加するときに挨拶や自己紹介をどうすればよいか」を調べて、安心して一步を踏み出せるようにしたい。

#### 例 5

- ① わたしの課題：留学生や海外の同世代と、オンライン交流会や英会話アプリでつながったら、英語力と異文化理解が深まるかもしれない。
- ②何を：学校や地域で行われている国際交流プログラム。  
どのような方法で：英語の先生に聞いたり、自治体国際交流協会のサイトを調べたりする。
- ③考察・新たな課題：自分の英語が通じるか不安だが、ジェスチャーや簡単な表現でも何とかなる場合があると分かった。次は、「相手の文化を失礼なく質問するコツ」を調べたい。

#### 例 6

- ① わたしの課題：将来なりたい職業の社会人と、先生の紹介や職業体験イベントでつながったら、仕事のやりがいや大変さを知ることができるかもしれない。
- ②何を：興味のある職業の人が参加するガイダンスや講演会。  
どのような方法で：進路室の掲示や学校から配られるプリントを確認し、参加申し込みをしてみる。
- ③考察・新たな課題：ネットの情報だけでは見えない「働く人の表情」や空気を感じることが大事だと思った。次は、「話を聞いたあとに自分の進路希望をどう振り返ればよいか」を考えたい。

#### 例 7

- ① わたしの課題：近所のお年寄りと、あいさつやちょっとした会話でつながったら、地域の歴史や昔の暮らしを知ることができるかもしれない。
- ②何を：どの時間帯なら迷惑にならずに話しかけやすいか。  
どのような方法で：家族に様子を聞いたり、町内会の行事のときに少しずつ話してみたりする。
- ③考察・新たな課題：急に長く話しかけるのではなく、まずはあいさつから始めるのが良さそうだと気づいた。次は、「話を聞いた内容をどうメモしてまとめるか」を調べたい。

#### 例 8

- ① わたしの課題：学校の図書館司書の先生と、カウンターで直接相談してつながったら、自分に合う本や進路に役立つ資料を紹介してもらえるかもしれない。
- ②何を：図書館でどんな相談までしていいのか。  
どのような方法で：司書の先生に「こういうテーマに興味がある」とざっくり伝えてみる。
- ③考察・新たな課題：本を選ぶのが面倒で同じジャンルばかり読んでいたが、人に勧めてもらうことで新しい世界が広がると感じた。次は、「読んだ本の感想を共有する読書会のような場があるか」を調べたい。

#### 例 9

- ① わたしの課題：オンラインの勉強会や学習コミュニティと、ビデオ通話やチャットでつながったら、勉強仲間ができて学習習慣が続くかもしれない。

②何を：高校生向けの安全な勉強コミュニティの探し方。

どのような方法で：口コミや学校の先生の紹介を頼りに、有料・無料のサービスを比較する。

③考察・新たな課題：

一緒に頑張る相手がいるとサボりにくくなる一方、合わない雰囲気だとストレスになりそうだと分かった。次は、「自分に合わないと思ったときの断り方」について考えたい。

### 例 10

① わたしの課題：

同じような悩み（不安・ストレスなど）を持つ人と、学校の相談室や外部の相談窓口を通してつながったら、気持ちが少し楽になるかもしれない。

②何を：無料で利用できる相談窓口やスクールカウンセラーの利用方法。

どのような方法で：担任の先生や養護教諭に聞き、予約の仕方や守秘義務について確認する。

③考察・新たな課題：

一人で抱え込むより、人に話すことで状況が整理されると感じた。ただ、最初の一步が重いので、「最初はメールやチャット相談から始める方法」など、自分に合った相談のスタートの仕方を調べたい。

## 第2回のまとめ（約400字）

「あなたが人とつながることで何が生まれるか？」を、ひでくんの例から考えた。ひでくんは、最初は「あまり人とつながりたいとは思わない」と言いながらも、好きなプログラミングをきっかけに「プログラマーとSNSやメールでつながったら、勉強になるかもしれない」という課題を立てる。ところが、スマホで「プログラマー ブログ」と検索しても、なかなか“つながれる相手”が見つからず、いきなりつまづいてしまう。そこで「調べ方が悪いのかも」と考え、インターネットに詳しい先生に相談することで、検索のコツ（AND 検索、「～とは」検索、画像・動画検索など）を学び、次のステップに進む。こうして課題をくり返し更新する中で、「ネットだけでつながっても本当につながったと言えるのか？」「実際に会って話すことが大事なのは？」という新しい問いが生まれ、やがて「ゲーム作りを通して人とつながれば、ゲームプログラマーの道につながるかもしれない」と、自分の本当の夢に気づいていく。失敗しても、理由を考察して「調べること・調べる方法・課題」そのものを見直すことが、探究学習では大切だと学んだ。

## 課題設定シート 回答例

### 例 1

① わたしの課題：イラストレーターとして働いている人と、オンラインイベントでつながったら、絵の仕事のリアルが分かるかもしれない。

②何を：高校生向けのイラスト系オンラインイベントがどこで開かれているか。

どのような方法で：「イラストレーター 高校生 向け イベント」などと AND 検索して調べる。

③考察・新たな課題：検索ワードを変えると、最初は出てこなかったイベント情報が見つかるようになった。次は、「イベント後に個人的に質問するとき、失礼にならないメールの書き方」を調べてみたい。

### 例 2

① わたしの課題：将来行きたい大学の在学生と、オープンキャンパスで直接会ってつながったら、受験勉強の進め方がはっきりするかもしれない。

② 何を：在学生と話せる企画（相談コーナーなど）がある大学はどこか。

どのような方法で：大学サイトでオープンキャンパスのページを見て、「在学生」「相談」などの言葉でページ内検索する。

③パンフだけでは分からない雰囲気が在学生との会話で分かりそうだと感じた。一方で、時間が限られているので、「短時間で要点を聞き出すための質問メモの作り方」を次に考えたい。

### 例 3

①わたしの課題：同じ教科が苦手な友達と、放課後の勉強会でつながったら、続けて勉強する習慣が身につくかもしれない。

②何を：勉強会に向いている場所や時間帯はどこか。

どのような方法で：クラスメイトにアンケートを取り、職員室で自習に使える教室を先生に聞く。

③考察・新たな課題：「みんな忙しいから集まらないかも」という不安があったが、2～3人でもやってみる価値があると分かった。次は、「参加者が少なくても続けられるルールづくり（遅刻・欠席の扱いなど）」を考えてみたい。

### 例 4

①わたしの課題：地域の音楽サークルと、メールや見学参加でつながったら、バンド活動の経験を積めるかもしれない。

②何を：高校生でも入れる音楽サークルがあるかどうか。

どのような方法で：[地域名 バンドサークル 高校生可] と AND 検索し、ヒットした団体にメールで問い合わせる。

③考察・新たな課題：最初は「バンドは怖そう」と思っていたが、HP の写真を見ると年齢も雰囲気もさまざま、意外と入りやすそうだと感じた。次は、「初対面の人と音合わせをするときのマナー（音量・挨拶など）」を調べたい

### 例 5

①わたしの課題：学校の図書館司書の先生と、カウンターでの相談を通じてつながったら、進路に役立つ本や資料を紹介してもらえるかもしれない。

②何を：図書館でどんな相談までしていいのか。

どのような方法で：司書の先生に、「進路のヒントになる本を探したい」と直接話してみる。

③考察・新たな課題：自分では思いつかなかったジャンルの本を提案してもらえる可能性があると分かった。次は、「紹介された本の内容をどうまとめて先生や友達と共有するか（レポートや付箋など）」を考えたい。

### 例 6

①わたしの課題：環境問題に関心のある人たちと、ボランティア団体を通してつながったら、自分にできる具体的な行動が見えてくるかもしれない。

②何を：高校生 OK の環境ボランティアはどんな活動をしているか。

どのような方法で：市役所の環境課のサイトで [ボランティア 高校生] と検索し、掲載されている団体に電話で問い合わせる。

③考察・新たな課題：「ゴミ拾い」だけでなく、イベント運営や企画の手伝いなど、いろいろな関わり方があったと分かった。次は、「一度参加してみて、自分に合う続け方をどう見つけるか」をテーマに、先輩ボランティアに話を聞きたい。

### 例 7

- ① わたしの課題：心の調子を崩した経験がある人と、ピアサポートグループなどでつながったら、自分の不安を言葉にしやすくなるかもしれない。
- ② 何を：高校生でも参加できる自助グループやオンラインの語り場があるか。  
どのような方法で：スクールカウンセラーや先生に相談して、信頼できる窓口を紹介してもらう。
- ③考察・新たな課題：ネット検索だけでは怪しい情報も多いと感じた。専門家に間に入ってもらうことで、より安全な場につながれると分かった。次は、「参加する前に、自分が話したくないことの線引きをどう決めるか」を考えてみたい。

### 例 8

- ① わたしの課題：外国にルーツを持つ同年代と、学校の交流会やオンラインでつながったら、将来の留学や仕事のイメージが広がるかもしれない。
- ② 何を：学校での日本語学校との交流事業や地域で行われている国際交流イベントの内容。  
どのような方法で：[市名 国際交流 高校生] と検索し、出てきた団体のイベント情報をチェックする。
- ③考察・新たな課題：「英語が苦手だから無理」と思っていたが、ジェスチャーや簡単な日本語でも交流している様子が写真で分かり、ハードルが少し下がった。次は、「初対面の外国人に日本の文化をどう紹介するか」を調べたい。

### 例 9

- ① わたしの課題：動画編集が得意な人と、SNS や学校の情報モラル講座をきっかけにしてつながったら、自分の YouTube 動画の質を上げられるかもしれない。
- ②何を：高校生に動画編集のコツを教えてくれそうな人はどこにいるか。  
どのような方法で：情報の先生に聞いたり、[動画編集 講座 高校生] とネット検索してオンライン講座を探す。
- ③考察・新たな課題：見よう見まねで編集していたが、プロや上級者のやり方を知ることで、時間の使い方も効率的になると感じた。次は、「教えてもらったことを忘れないように、手順書やマニュアルを自分で作る方法」を考えたい。

### 例 10

- ① わたしの課題：プログラミングを学んでいる大学生や社会人と、実際に会って話す形でつながったら、自分にとっての「本気で勉強する」という意味が分かるかもしれない。
- ②何を：身近でプログラミングを学んでいる人や、勉強会が開かれている場所。  
どのような方法で：先生に紹介をお願いしたり、[プログラミング 勉強会 高校生可] と AND 検索して調べる。
- ③考察・新たな課題：ネット上の情報だけでは分からない「その人の表情」や「学ぶ姿勢」が、直接会うことで伝わってくると思った。次は、「話を聞いたあと、自分の勉強計画をどう見直すか」を具体的な 1 週間の計画に落とし込んでみたい。